

これからの100年へ。



100th

郡山冷蔵製氷
創立100周年
GUNREI 100 YEARS



郡山冷蔵製氷株式会社

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字太郎殿前2-6
TEL.024-944-1653(代) FAX.024-944-1475 <http://gunrei.com/>

ごあいさつ

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、1917年(大正6年)に創立いたしました弊社は、おかげさまで今年100周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の多大なるご支援ご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

手作業からオートメーションへ、そしてコンピュータによる先進の事業管理体制へ。この100年、私共の業界は劇的な変貌を遂げ、そのスピードは今後ますます加速していくことでしょう。しかし時代が変わっても、「お客様のニーズにお応えする」という思いは変わることなく、これからも企業活動の原点であり続けます。

「製氷」、「冷蔵・冷凍」、そして「低温運輸」。この3部門を柱に、よりよい商品とサービスを通して皆様に最高のご満足をお届けできるよう、社員一同、最善を尽くしてまいります。

今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2017年3月

郡山冷蔵製氷株式会社

三春に生まれ、郡山に生きる

～ 創業者内藤伝之助と安藤家～

安藤 昇



三春発展の礎を築いた初代社長

当社の創業者は三春の実業者・内藤伝之助翁（以下、初代内藤社長という）です。

この人物は、「三春第93国立銀行」の総支配人、大滝根川に発電所を設け発電事業を行った「三春電気株式会社」の設立発起人代表、郡山と三春を結んだ「三春馬車鉄道株式会社」の社長、さらに当社の前身である「東北製氷株式会社」の社長など、多くの会社を設立・運営し、地元・三春の産業の育成に貢献された方です。

明治16(1883)年に安積疎水が完成し、明治32(1899)年には沼上発電所が運転を開始。安積疎水を農業用水だけでなく工業用水

として利用してからの郡山村の著しい発展を見て、三春村も近代化の波に乗り遅れまいと、初代内藤社長は郡山の成功例を参考に発電所を作り、工場誘致を図り、三春村の発展を願って産業化促進の基盤整備を行いました。その業績は、後の日本化学の工場誘致にも繋がっております。



内藤伝之助初代社長

現在の産業経済界にもつながる功績

「三春馬車鉄道」は、明治24(1891)年に東北本線が開通した際に、三春がそのルートから外れた為に危機感を持った初代内藤社長が、地元有志と共に設立したものとされます。

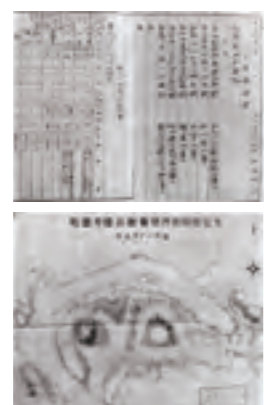
また初代内藤社長が総支配人を務めた「第93国立銀行」は、その後「三春銀行」と名称を変えましたが、商人道徳の一つである“政治的中立”を守った為に、昭和の金融恐慌を生き延び存続いたしました。時代は移り、昭和16

(1941)年、戦時下において、国策により「東邦銀行」と合併となりましたが、結果的により良い形となり、やはりその志や役割は継続されております。

設立発起人代表を務めた「三春電気株式会社」も、昭和15(1940)年、国策により「大日本電力」と統合になり、戦後は「東北電力」へと分割されました。が、やはりこれも、より良い形



三春電気社屋
(現在の東北電力)



発電所設計書と図面



三春に初めて電灯をつけた
滝発電所のタービン



三春馬車鉄道株券



三春馬車鉄道会社跡の碑



小泉逢隈橋を渡る馬車鉄道(現在の磐越東線)



郡山市歴史資料館に展示されている三春馬車鉄道客車の
実物大復元模型



馬車鉄道の従業員



第93国立銀行跡
(現在の東邦銀行)



馬車鉄道の絵が入った広告



馬車鉄道の絵(廣長威彦氏)



水害後の馬車鉄道の光景
(後方に磐越東線阿武隈川鉄橋工事中の橋脚が見える)



馬車鉄道は現在のJR郡山駅前発着であった(明治42年郡山市街図)

安藤家、東北製氷(株)の経営に乗り出す

初代内藤社長の奮闘にも係わらず、三春と郡山の経済発展の差は如何ともしがたく、「東北製氷株式会社」の方は、郡山の安藤家に声がかかりました。

内藤家は三春村の郵便局も営んでおりましたが、郡山村で同じく郵便局を営んでいた安藤家と郵便局経営者仲間で交流があり、急速に発展する郡山の経営者にその将来を託したようです。

安藤家は、郡山村が郡山町へと昇格する中で、町の収入役を親子・孫の3代に渡って依頼され勤め上げました。岩越線(磐越西線)の起点争いにおいては、白河、須賀川、本宮と競い、自費にて東奔西走して、郡山を起点とすることに成功し、四通八達する今日の郡山の基礎づくりに尽力いたしました。味噌・醤油等

の製造業、農場開発、村役人などを代々家業とし、明治以降は「郵便丸屋」と呼ばれていたそうです。

「東北製氷株式会社」は、郡山の安藤家に経営が移ってからは、県の立地的中心という地の利を活かし、また、商人の町・郡山の商人魂を発揮して、氷を貯蔵しておく氷室(ひむろ)を利用した冷蔵倉庫業を開始しました。

また戦時中には、潜水艦用の冷凍肉の凍結や保管を行ったりもしておりました。

現在では、県内に4ヶ所の冷蔵倉庫を配置し、県下では最大の保管能力を有する冷蔵倉庫会社に成長しております。

さらに元来の製氷業では、県外の埼玉県にも



大正3年新築の三春郵便局舎



改築中の仮局舎

※写真提供:三春町(三春町史)、橋本捨五郎様

創業の志を受け継ぎ、次の100年へ

「東北製氷株式会社」は創業当初、大正時代当時の最新技術であったアンモニア冷凍法を導入して氷を製造しておりました。ちなみに生産に必要な電力は、郷土・三春を流れる大滝根川の水力を利用して発電したもの——つまり初代内藤社長が設立した「三春電気株式会社」から供給されていました。

家庭用の冷蔵庫もなく、氷の用途は魚類冷却が中心であった時代、会社としては“食品を新鮮で安全に保ち、社会に貢献する”という志があったのだと思います。現在も当社は郡山市の魚市場の氷を供給させて頂いておりますし、冷蔵倉庫業も同様に、食品を新鮮で安全に保つために行っている事業です。そうした志や企業としての役割は、創業の頃から変わることなく現在も継承されています。

100周年に際して、当社の歴史を三春歴史民俗資料館、郡山市歴史資料館に出向き調べてみるに及び、郡山市歴史資料館には「三春馬車鉄道株式会社」の株券の実物や客車の実物大の復元模型が展示してあり、先人達の

果たしてきた社会的貢献に驚き、改めて敬意を表し、またその功績に恥じる事のないような仕事をするからこそ、後に続く私たちに課せられた責務なのだと思います。

郷土を発展させようとした初代内藤社長、志を受け継ぎ継承発展させた2代目社長安藤久兵衛、さらに関東にまで事業拡大させた3代目社長安藤澄男、その偉大で高潔な精神を敬いつつ、お客様を愛し、地域社会を愛し、社員さんを愛し、しっかりと次の100年、200年を目指して歩

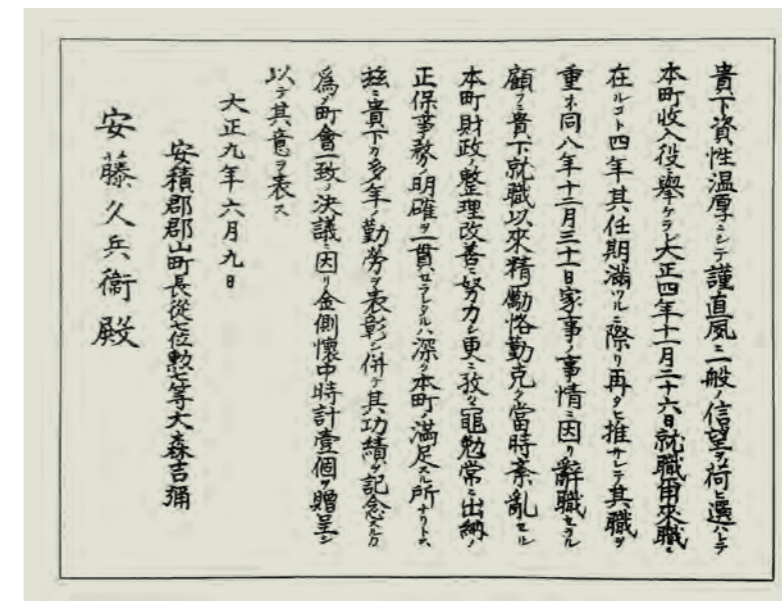


第4代社長

安藤昇

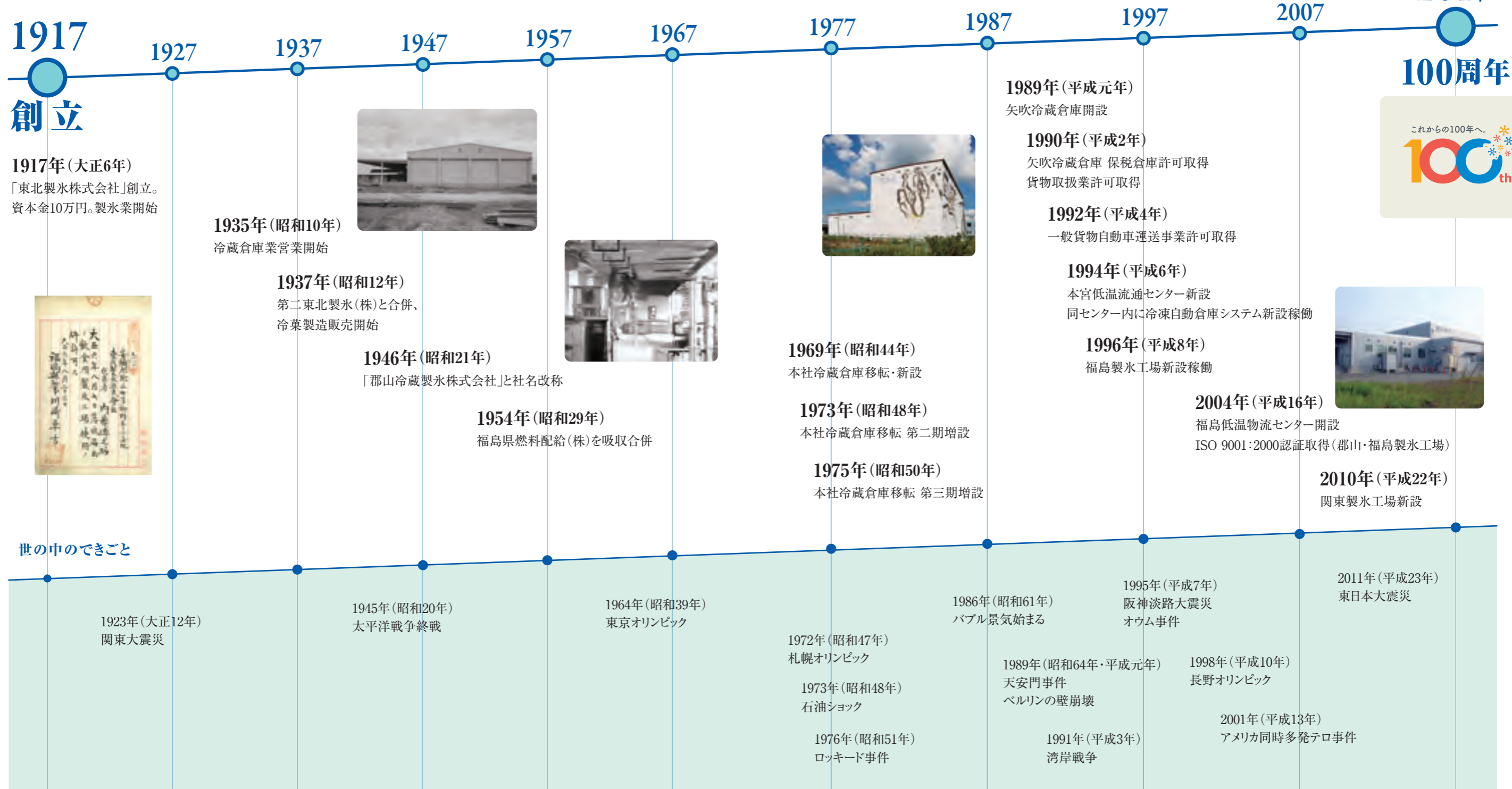


安藤久兵衛 第2代社長(郡山安藤総本家第68代当主)
(裁判所調停委員 郡山ロータリークラブチャーターメンバー)



収入役として功労があったと表彰されたその表彰状

グンレイ100年の歩み



第1期建設中の富久山冷蔵庫
(現本社)。郡山水産様の郡山
市中央市場の新設に呼応して
建設された(右奥は建設中の郡
山水産様)



建設中の郡山市中央市場



富久山冷蔵庫の設備拡充を図り、第2期増設工事を開始



第2期工事中の富久山冷蔵庫



富久山ののどかな景観の中、新築工事施工の
看板が目をひいた



巨大な収容能力と当時最先端の設備を誇る冷蔵施設となった



第2期工事中の屋根より富久山陣場方面を望む



富久山冷蔵庫のさらなる増設のため第3期工事に着手



第1期工事、完成間近の様子



東部幹線から撮影した第2期工事の様子



富久山冷蔵庫地鎮祭にて鍬入れを行う安藤澄男第3代社長（現会長）



右端は安藤澄男第3代社長（現会長）、その左は現会長の実兄・安藤眞男取締役（郡山安藤総本家第69代当主）



中央は遠藤弥三次郡山水産会長、その左は安藤トク監査役



工事の無事を祈る安藤トク監査役（郡山敬神婦人会会長、郡山婦人会幼児保育所創始者、安藤久兵衛第2代社長夫人）



工事の安全や事業の発展を祈る安藤澄男第3代社長（現会長）



第1期工事落成式にて無事竣工したことを報告する安藤澄男第3代社長（現会長）



謝辞を述べる反田常務



工事関係者の皆様には、安藤澄男第3代社長（現会長）から記念品を贈呈



たくさんの方をお招きし、祝宴が開かれた



落成を祝う舞も披露された



安藤澄男第3代社長の時代、会社の発展を支えていただいた社員の皆さん

グンレイは、おかげさまで100周年。
これからもお客様と共に歩み続けます。



前列左から 監査役:遠藤 喜志雄・会長:安藤 澄男・代表取締役社長:安藤 昇
後列左から 営業課長:坂井 康・営業課長:石川 龍次・顧問:石井 道夫・常務取締役:嶋 勇吉・総務部長:高橋 泰弘・
営業部長:伊藤 和也・総務:柳沼 祐子



関東製氷工場

〒367-0212
埼玉県本庄市児玉町児玉字中島 777-1
TEL.0495-71-6307 FAX.0495-71-6308

関東製氷工場の皆さん



郡山製氷工場

〒963-8071
福島県郡山市富久山町久保田字太郎殿前 2-31
TEL.024-944-1655 FAX.024-944-1475



郡山製氷工場の皆さん

本社・郡山低温流通センター・ 低温運輸部

〒963-8071
福島県郡山市富久山町久保田字太郎殿前 2-6
TEL.024-944-1655 FAX.024-944-1475



郡山低温物流センターの皆さん



本宮低温流通センター

〒969-1104 福島県本宮市荒井字北ノ内 60-10
TEL.0243-34-3431 FAX.0243-34-3434



本宮低温物流センターの皆さん

福島製氷工場

〒960-2101 福島県福島市さくら一丁目 2-12
TEL.024-593-0199 FAX.024-593-2333



福島製氷工場の皆さん

矢吹冷凍倉庫（保税蔵置場）

〒969-0251 福島県西白河郡矢吹町神田西 169
TEL.0248-45-2350 FAX.0248-45-2974



矢吹冷凍倉庫の皆さん

福島低温物流センター

〒960-0113 福島県福島市北矢野目字江下 11-1
TEL.024-554-2601 FAX.024-554-2602



福島低温物流センターの皆さん

燃料部（本町営業所）

〒963-8871 福島県郡山市本町 1-19-6
TEL.024-922-1018 FAX.024-931-4744



燃料部の皆さん